

■ 脱モコモコ音。クリアで美しい音色作り

ユーフォニアムの音色は「暖かい音、優しい音」と言われることが多く、楽器特有のキャラクターの一つです。

しかし、モコモコした実体のない音や、気合と名ばかりの暴風プレスや身体に力を入れて吹いてしまい雑な音で吹いている方もいるかもしれません。

ぜひ、ユーフォニアムは「美しい音」を目標の優先事項にしてください！
自分の音を好きになり、音楽が相手に伝わる喜びのために、個人練習に前向きに取り組みましょう！

■ マウスピースバズイングのポイント

- ・唇の自然な振動が美しい音には不可欠です。バズイング練習でチェックしてみましょう。
- ・無理矢理に音を出すのではなく「息が勝手に唇を振動させて音になる」感覚を大切にしましょう。
- ・ピアノやチューナーなどで、音を聴きながら吹くのも良いアイデアです。
- ・マウスピースでの練習は長時間は必要はありません。
(実際に吹いている感覚や抵抗感などが違うため)

■ ロングトーン

- ・お勧めなのは「一つの音をひたすら伸ばすのではなく、異なる音程の音を一息(スラー)でスムーズに繋いで吹く」練習です。
- ・自身の意識で次に移る音をイメージして繋いでいく事が大切です。
- ・マウスピースを楽器につけると、楽器任せ・運指任せになってしまいがちですが、常に心のなかで音を歌いましょう)



この練習をマウスピースバズイングで練習するのも効果的です！

■ タンギング

- ・メトロノームを使い、自分のできるテンポからスタート。
- ・少しずつテンポを上げて、目標はシングルタンギングでテンポ120です！
- ・ロングトーンの音色をキープできよう、息の流れを止めずに練習しましょう。
- ・舌のリラックスが最大のポイントです。身体が慣れるまで少し時間もかかります。



※半音ずつ下降

■ スケールのポイント

- ・個人練習時のスケール練習は、レガートタンギングから練習をしましょう。
- ・色々な調性、アーティキュレーションでも演奏してみましょう。暗譜もできると良いですね。

B♭ Major (B dur)



F Major (Es dur)



■ リップスラー

- ・音色の繋がりがスムーズになるようにメトロノームを使いトレーニングしましょう。
- ・上手にできないときは、マウスピースバズイングで「音を滑らかに移行」するようなイメージを試してみてください。
- ・低い音のシラブル、高い音のシラブルなども工夫して練習してみましょう。

練習例(JBCバンドスタディより)

